

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ハーボニー配合錠	市販直後調査 平成 27 年 9 月～平成 27 年 2 月
(英名)	HARVONI Combination Tablets	
(規格・含有量)	1錠中レジパスビル 90mg、ソホスブビル 400 mg を含有	
(一般名)	レジパスビル アセトン付加物、ソホスブビル	
(メーカー名)	ギリアド・サイエンシズ株式会社	
【薬価収載日】	2015 年 8 月	
【薬価】	1 錠:80171.30 円	
【薬効コード】	876250	
【薬効分類名】	抗ウイルス剤	
効能・効果	セログループ 1(ジェノタイプ 1) の C 型慢性肝炎又は C 型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善	
用法・用量	通常、成人には1日1回1錠(レジパスビルとして90mg及びソホスブビルとして400mg)を12週間経口投与する。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②重度の腎機能障害(eGFR<30mL/分/1.73m ²)又は透析を必要とする腎不全の患者(【薬物動態】の項参照) ③次の薬剤を投与中の患者:カルバマゼピン、フェニトイン、リファンピシン、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品	
相互作用	本剤作用減弱 リファンピシン、カルバマゼピン、フェニトイン、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品、制酸剤(水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム等)、H ₂ 受容体拮抗剤(ファモチジン等)、プロトンポンプ阻害剤(オメプラゾール等)、リファブチン、フェノバルビタール 他剤作用増強 ジゴキシン、テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩を含有する製剤、ロスバスタチン 他剤副作用増強 アミオダロン	
副作用	重大な副作用 報告なし その他 発現頻度5%以上の報告なし	

医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
●12月1日より	
アザニン錠 50 mg	イムラン錠 50 mg
ノボセブン HI 静注用 1 mg シリンジ	ノボセブン HI 静注用 1 mg
ノボセブン HI 静注用 2 mg シリンジ	ノボセブン HI 静注用 2 mg
ノボセブン HI 静注用 5 mg シリンジ	ノボセブン HI 静注用 5 mg
セフォセフ静注用 1g	スルペラゾン静注用 1g

削除医薬品通知

●12月1日より

アルタット細粒 20% 0.1875g/包

12/1 削除

適応追加通知

ゼローダ錠 300 mg

【効能・効果】

1. 手術不能又は再発乳癌
2. 結腸癌における術後補助化学療法
3. 治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸
4. 治癒切除不能な進行・再発の胃癌

【用法・用量】

胃癌には白金製剤との併用でC法を使用する。

C法: 体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後30分以内に1日2回、14日間連日経口投与し、その後7日間休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。

体表面積	1回用量
1.36m ² 未満	1,200mg
1.36m ² 以上 1.66m ² 未満	1,500mg
1.66m ² 以上 1.96m ² 未満	1,800mg
1.96m ² 以上	2,100mg

レクサプロ錠 10 mg

【効能・効果】

うつ病・うつ状態、社会不安障害

【用法・用量】

通常、成人にはエスシタロプラムとして10mgを1日1回夕食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて行い、1日最高用量は20mgを超えないこととする。

献血グロベニン-I 静注用 2500 mg

献血グロベニン-I 静注用 5000 mg

【効能・効果】

水疱性類天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合)

【用法・用量】

本剤は、添付の日本薬局方注射用水(2,500mg製剤は50mL、5,000mg製剤は100mL)で溶解し、効能・効果に応じて以下のとおり投与する。

水疱性類天疱瘡: 通常、1日に人免疫グロブリンGとして400mg(8mL)/kg体重を5日間連日点滴静注する。